

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard

Ver16.0 から Ver17.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver17.0 6 Ver17.0 (H17.4.23)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「PSTOCK_ASSIGN_NOT_DECISION_DELETE」を追加
書式: PSTOCK_ASSIGN_NOT_DECISION_DELETE
[出荷計画] - [製品在庫] - [製品在庫引当てリスト]
- [未確定製品在庫引当てリスト削除...] コマンドを実行します。
- (2) マクロコマンド「WRITE_PRODUCT_STOCK_INFO」を追加
書式: WRITE_PRODUCT_STOCK_INFO 引数1 引数2 引数3
引数1: 在庫計算基準日時
引数2: 対象製品在庫(「0」: 抽出(表示)されている製品在庫、「1」: 全製品在庫)
引数3: 製品在庫情報ファイル作成後の Excel での起動確認(「0」: しない、「1」: する)
[出荷計画] - [製品在庫] - [製品在庫情報ファイル作成...] コマンドを実行します。
- (3) マクロコマンド「PRODUCT_INVENTORY_EDIT」を追加
書式: PRODUCT_INVENTORY_EDIT 引数1 引数2 引数3
引数1: 動作モード(「0」: 最後に編集したファイルを開く、「1」: 新規ファイルを開く)
引数2: 在庫計算基準日時
引数3: 対象製品在庫(「0」: 自動、「1」: 抽出(表示)されている製品在庫、「3」: 全製品在庫)
[出荷計画] - [製品在庫] - [製品在庫棚卸編集...] コマンドを実行します。
- (4) マクロコマンド「MATERIAL_INVENTORY_EDIT」を追加
書式: MATERIAL_INVENTORY_EDIT 引数1 引数2 引数3
引数1: 動作モード(「0」: 最後に編集したファイルを開く、「1」: 新規ファイルを開く)
引数2: 在庫計算基準日時
引数3: 対象原材料在庫(「0」: 自動、「1」: 抽出(表示)されている原材料在庫、「3」: 全原材料在庫)
[資源計画] - [原材料在庫] - [原材料在庫棚卸編集...] コマンドを実行します。
- (5) マクロコマンド「M_SPEC_PRIORITY_OPEN」を追加
書式: M_SPEC_PRIORITY_OPEN <省略可: 引数1 引数2 引数3 引数4>
引数1: ウィンドウ X 座標、引数2: ウィンドウ Y 座標、引数3: 幅、引数4: 高さ
[マスター] - [仕様優先順位設定マスター編集] コマンドを実行します。
- (6) マクロコマンド「RREAD_MATERIAL_INVENTORY_INFO」を追加
書式: READ_MATERIAL_INVENTORY_INFO
[ユーティリティ] - [HOST] - [原材料在庫棚卸情報取込...] コマンドを実行します。
- (7) マクロコマンド「READ_PRODUCT_ASSIGN_INFO」を追加
書式: READ_PRODUCT_ASSIGN_INFO

- [ユーティリティ] - [ホスト] - [製品在庫引当て情報取込...] コマンドを実行します。
- (8) マクロコマンド「READ_PRODUCT_INVENTORY_INFO」を追加
書式：READ_PRODUCT_INVENTORY_INFO
[ユーティリティ] - [ホスト] - [製品在庫棚卸情報取込...] コマンドを実行します。
- (9) マクロコマンド「READ_POP_PRODUCT_IN_RESULT」を追加
書式：READ_POP_PRODUCT_IN_RESULT
[ユーティリティ] - [ホスト] - [POP 実績取込] - [POP 製品在庫入庫実績取込...] コマンドを実行します。
- (10) マクロコマンド「READ_POP_PRODUCT_OUT_RESULT」を追加
書式：READ_POP_PRODUCT_OUT_RESULT
[ユーティリティ] - [ホスト] - [POP 実績取込] - [POP 製品在庫出荷実績取込...] コマンドを実行します。
- (11) マクロコマンド「READ_POP_PRODUCT_INVENTORY_RESULT」を追加
書式：READ_POP_PRODUCT_INVENTORY_RESULT
[ユーティリティ] - [ホスト] - [POP 実績取込] - [POP 製品在庫棚卸実績取込...] コマンドを実行します。
- (12) マクロコマンド「MACRO_EXE_MODE_SET」を追加
書式：MACRO_EXE_MODE_SET 引数1(「0」:通常、「1」:ステップ)
マクロの実行モードを設定します。
- (13) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_PRODUCT_PATTERN」を追加
書式：PROPERTY_COPY_PRODUCT_PATTERN
[ユーティリティ] - [その他] - [プロパティコピー]
- [プロパティコピー(製品名称 生産パターン名称)...] コマンドを実行します。
- (14) マクロコマンド「WRITE_TPL_MATERIAL_INVENTORY_INFO」を追加
書式：WRITE_TPL_MATERIAL_INVENTORY_INFO
[ユーティリティ] - [その他] - [テンプレート]
- [原材料在庫棚卸情報取込ファイルの作成...] コマンドを実行します。
- (15) マクロコマンド「WRITE_TPL_PRODUCT_ASSIGN_INFO」を追加
書式：WRITE_TPL_PRODUCT_ASSIGN_INFO
[ユーティリティ] - [その他] - [テンプレート]
- [製品在庫引当て情報取込ファイルの作成...] コマンドを実行します。
- (16) マクロコマンド「WRITE_TPL_PRODUCT_INVENTORY_INFO」を追加
書式：WRITE_TPL_PRODUCT_INVENTORY_INFO
[ユーティリティ] - [その他] - [テンプレート]
- [製品在庫棚卸情報取込ファイルの作成...] コマンドを実行します。

Ver17.0 5 Ver17.0 6 (H17.4.17)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - ホスト - POP 実績取込」ポップアップメニューの追加
POP 生産実績取込コマンド等、各種 POP 実績取込系のコマンドをこの配下へ
移動しました。
- (2) 「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫棚卸編集...」コマンドの追加

- しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫情報ファイル作成...」 コマンドの追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver17.0 4 Ver17.0 5 (H17.4.11)

(追加・改良)

- (1) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - ホスト - POP 製品在庫棚卸実績取込...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - ホスト - 製品在庫棚卸情報取込...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 製品在庫引当て情報取込ファイルの作成...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 製品在庫棚卸情報取込ファイルの作成...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver17.0 3 Ver17.0 4 (H17.4.6)

(追加・改良)

- (1) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - POP - 製品在庫棚卸実績入力...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - POP - 製品在庫棚卸実績データのテーブル編集」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - POP - 製品在庫棚卸実績ファイル作成」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 製品在庫リストへ「棚卸情報」フィールドを追加
- (5) テーブルセルの編集ウィンドウの編集メニューへ以下のコマンドを追加
「バリデーションエラーレコード抽出」
バリデーションエラーレコードを抽出します。

Ver17.0 2 Ver17.0 3 (H17.3.25)

(追加・改良)

- (1) 以下のコマンドを追加
「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 製品在庫引当てカスタマイズ...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - POP - 製品在庫出荷実績入力...」

- しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - POP - 製品在庫出荷実績データのテーブル編集」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - POP - 製品在庫出荷実績ファイル作成」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (5) 初期設定「システム」タブの項目名称変更
旧：日付開始日時 新：日付開始時刻
- (6) POP 原材料在庫実績入力ダイアログへ「全セット」ボタンを追加
- (7) 中間体マスターのバリデーション強化（レベル2）
同時生産に関するバリデーションチェックを強化しました。
- (8) 以下のコマンドを追加
「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 未確定製品在庫引当てリスト削除...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (9) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - ホスト - POP 製品在庫出荷実績取込...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (10) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - ホスト - 製品在庫引当て情報取込...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver17.0 1 Ver17.0 2 (H17.3.15)

(追加・改良)

- (1) スケジュールリング優先順位へ「下位データ連動階層」を追加
昇順の場合、製品タイプが「製品」のものが先ず優先されます。
次に製品タイプが「半製品」のものが割付対象となります。
そして半製品同士の比較の場合は、下位データ連動階層が比較されます。
降順の場合、製品タイプが「半製品」のものが先ず優先されます。
そして半製品同士の比較の場合は、下位データ連動階層が比較されます。
最後に製品タイプが「製品」のものが割付対象となります。
「下位データ連動階層」の設定は、通常は製品からの階層（深度）を設定して下さい。
先頭工程側の方が、階層（深度）は大きくなるように設定して下さい。
- (2) ガントチャートのメニューへ以下のコマンドを追加
「編集 - 半製品在庫引当てカスタマイズ...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - 製品名称 生産パターン名称...」
製品マスターの製品名称フィールドのプロパティを生産パターンマスターの
パターン名称フィールドへコピーします。

Ver17.0 Ver17.0 1 (H17.3.3)

(追加・改良)

(1) 初期設定「その他 7」タブへ以下を追加

「オーダー作成で受注情報の優先順位をコピーする」

現状は「No」の状態です。「Yes」に設定するとオーダー作成時、受注情報の優先順位がコピーされます。複数の受注情報からまとめてオーダーが作成される場合は、その中で一番値が小さいものがコピーされます。デフォルトは「No」です。

(2) 「ユーティリティ - POP - 製品在庫在庫実績入力データのテーブル編集」コマンドの追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(3) 「ユーティリティ - POP - 製品在庫在庫実績入力ファイル作成...」コマンドの追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(4) 「ユーティリティ - ホスト - POP 製品在庫在庫実績取込...」コマンドの追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.508 Ver17.0 (H17.2.25)

(追加・改良)

(1) POP 端末設定マスターへ「製品在庫在庫実績入力許可」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(2) POP 端末設定マスターへ「製品在庫在庫実績更新処理」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(3) POP 端末設定マスターへ「製品在庫在庫実績取込順位」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(4) POP 端末設定マスターへ「製品在庫出荷実績入力許可」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(5) POP 端末設定マスターへ「製品在庫出荷実績更新処理」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(6) POP 端末設定マスターへ「製品在庫出荷実績取込順位」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(7) POP 端末設定マスターへ「製品在庫棚卸実績入力許可」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(8) POP 端末設定マスターへ「製品在庫棚卸実績更新処理」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(9) POP 端末設定マスターへ「製品在庫棚卸実績優先順位」フィールドを追加
「編集許可個別管理リソース」の前へ挿入しました。

(10) 「ユーティリティ - POP - 製品在庫在庫実績入力...」コマンドの追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.445 Ver16.508 (H17.2.16)

(追加・改良)

(1) 「マスター - 仕様優先順位設定マスター編集」コマンドを追加

仕様の優先順位を設定するマスターです。

ここで優先順位を設定しない項目、もしくは、該当する仕様の設定がないものについては、優先順位が 10000 として扱われます。

- (2) スケジューリング画面の優先順位項目へ「仕様 01 優先順位」～「仕様 10 優先順位」を追加仕様の優先順位を比較します。

Ver16.439 Ver16.445 (H17.2.8)

(追加・改良)

- (1) 「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫棚卸編集...」コマンドの追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 「ユーティリティ - POP - 原材料在庫実績入力」のダイアログで原材料在庫リストラジオボタンを使用できるようにした。選択したラジオボタンにより、選択リストが動的に変更されます。

Ver16.428 Ver16.439 (H17.1.27)

(追加・改良)

- (1) 「重み」の設備平準化の計算を変更しました。
- (2) 原材料マスターへ「下位データ連動階層」フィールドを追加 (0 以上の整数を指定)
下位データ連動の階層を指定することができます。
ここで指定した階層は、マクロコマンドより使用されます。(3) (4) 参照。
手動による操作の場合は、反映できません。
ヒント：複数の階層で使用される半製品のオーダー作成を同一階層でまとめて行うことができます。半製品に最低在庫を設定している場合も有効です。
- (3) マクロコマンド「DOWN_MYSELF」の書式変更
現状書式：DOWN_MYSELF
新規書式：DOWN_MYSELF <省略可：引数 1>
引数 1 にデータ連動する、または、しない階層 (上記 (2) 参照) を指定します。
引数 1 で、階層の前に「 - 」(マイナス) を付加した場合は、その階層をデータ連動の対象外とします。その場合は、引数 1 で指定した以外のものがデータ連動の対象となります。
ただし、「下位データ連動階層」フィールドの値がゼロのものは引数 1 に関係なく、常にデータ連動の対象となります。引数 1 を省略した場合、または、「下位データ連動階層」フィールドの値が全てデフォルト (ゼロ) の場合は、現状と同じ動作となります。
複数指定する場合は、「 , 」(カンマ) で区切って下さい。ただし、マイナスと非マイナスを混在して使用しないで下さい。また、引数 1 へはスペースを付加しないで下さい。
例 1 : Down_MySelf 1 , 5
下位データ連動階層フィールドが、0 , 1 , 5 が対象となります。
例 2 : Down_MySelf - 4 , - 5
下位データ連動階層フィールドが、4 , 5 以外のものが対象となります。
- (4) マクロコマンド「DOWN_CREATE」の書式変更
現状書式：DOWN_CREATE
新規書式：DOWN_CREATE <省略可：引数 1>
使用方法等は、上記 (3) を参照して下さい。

Ver16.421 Ver16.428 (H17.1.12)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - ホスト - マクロ - 実行モード」ポップアップメニューの追加
- (2) 「ユーティリティ - ホスト - マクロ - 実行モード - 通常」コマンドの追加
通常モードでは、マクロの実行を連続的に実行します。
現状は、通常モードの状態です。
- (3) 「ユーティリティ - ホスト - マクロ - 実行モード - ステップ」コマンドの追加
ステップモードでは、マクロステップ実行ダイアログからマクロの実行を
1行ずつ実行します。

Ver16.400 Ver16.421 (H17.1.5)

(追加・改良)

- (1) マクロ実行時の「CTRL+SHIFT+S(英文字)」キー同時押処理の追加
マクロ実行中、キー同時押処理を実行した場合、マクロを途中で中断します。
ただし、データ連動等の各コマンドの処理の途中では、中断することはできません。
中断するまではキーを押し続けて下さい。
- (2) スケジューリング実行時の「CTRL+SHIFT+S(英文字)」キー同時押処理の追加
スケジューリング実行中、キー同時押処理を実行した場合、スケジューリングを
途中で中断します。マクロの中から実行されている場合も有効です。
その場合、スケジューリングを中断し、マクロも中断します。
中断するまではキーを押し続けて下さい。
- (3) スケジューリングカスタマイズ機能の拡張
後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 「現在の割付設備を選択する」とクリティカル、同時生産機能(タイプ2)との併用化

Ver16.342 Ver16.400 (H16.12.24)

(追加・改良)

- (1) 工程間リソース機能&ダイナミック生産パターン選択機能の併用化
- (2) 工程間リソース機能&クリティカルの最適化
- (3) リソースマスターへ「上乘せ」フィールドを追加(選択肢「空白」、「不可」、「可」)
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.337 Ver16.342 (H16.12.18)

(追加・改良)

- (1) ダイナミック生産パターン選択機能の高速化
- (2) レポートの登録の「登録」及び「変更」ダイアログのインターフェースを変更
レポート実行前、バリデーションエラーがある場合は、または、スケジューリング
未終了の場合は、実行できないようにすることが可能となった。
- (3) 以下のマクロコマンドを追加
「WRITE_CONTROL_FILE_BY_SIMULATION」
書式: WRITE_CONTROL_FILE_BY_SIMULATION 引数1 引数2 引数3 引数4
引数1: シミュレーション M の場合のコントロールファイル

引数 2 : シミュレーション S1 の場合のコントロールファイル
引数 3 : シミュレーション S2 の場合のコントロールファイル
引数 4 : シミュレーション S3 の場合のコントロールファイル
現在選択のシミュレーションによって、実行するコントロールファイルを選択し、
コントロールファイル転送を実行します。

(4) 以下のマクロコマンドを追加

「WRITE_CONTROL_FILE_BY_SIMULATION_AND_OPEN」

書式 : WRITE_CONTROL_FILE_BY_SIMULATION_AND_OPEN 引数 1
引数 2 引数 3 引数 4

引数 1 : シミュレーション M の場合のコントロールファイル
引数 2 : シミュレーション S1 の場合のコントロールファイル
引数 3 : シミュレーション S2 の場合のコントロールファイル
引数 4 : シミュレーション S3 の場合のコントロールファイル
現在選択のシミュレーションによって、実行するコントロールファイルを選択し、
コントロールファイル転送 出力データ確認を実行します。

Ver16.322 Ver16.337 (H16.12.15)

(追加・改良)

(1) 初期設定「その他 7」タブへ以下を追加

「オーダー作成のまとめ処理で日単位の場合は工場カレンダーを使用する」

「Yes」に設定すると、まとめ処理で日単位の場合は初期設定「システム」タブの
「遅れ日数計算等使用カレンダー」で指定したカレンダーの稼働日より
日数計算をしてまとめ処理を行います。

現状は「No」の状態(24時間カレンダー)です。デフォルトを「Yes」に設定しました。

(2) 初期設定「その他 7」タブへ以下を追加

「下位データ連動のまとめ処理で日単位の場合は工場カレンダーを使用する」

「Yes」に設定すると、まとめ処理で日単位の場合は初期設定「システム」タブの
「遅れ日数計算等使用カレンダー」で指定したカレンダーの稼働日より
日数計算をしてまとめ処理を行います。

現状は「No」の状態(24時間カレンダー)です。デフォルトを「Yes」に設定しました。

(3) 初期設定「その他 7」タブへ以下を追加

「MRP 作成のまとめ処理で日単位の場合は工場カレンダーを使用する」

「Yes」に設定すると、まとめ処理で日単位の場合は初期設定「システム」タブの
「遅れ日数計算等使用カレンダー」で指定したカレンダーの稼働日より
日数計算をしてまとめ処理を行います。

現状は「No」の状態(24時間カレンダー)です。デフォルトを「Yes」に設定しました。

Ver16.264 Ver16.322 (H16.12.7)

(追加・改良)

(1) 「ユーティリティ - ホスト - 原材料在庫棚卸情報取込...」コマンドの追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

(2) 以下のコマンドを追加

- 「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 原材料在庫棚卸情報取込ファイルの作成...」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 初期設定「システム」タブへ「遅れ日数計算等使用カレンダー」を追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver16.252 Ver16.264 (H16.12.1)

(追加・改良)

- (1) 各種グラフの集計で実績がある場合には実績値より計算するようにした。
現状、稼働率以外のグラフに関しては計画値で集計計算している。
- (2) スケジューリング優先順位項目へ「FW&シリーズ生産開始日」を追加
まず、FWのシリーズが優先的に割付きます。さらにFWで割付くシリーズの
シリーズ生産開始日の昇順・降順を判断します。この場合、シリーズ生産開始日の
昇順・降順は、FWで割付くシリーズのみが対象となります。
- (3) スケジューリング優先順位項目へ「BW&シリーズ生産開始日」を追加
まず、BWのシリーズが優先的に割付きます。さらにBWで割付くシリーズの
シリーズ生産開始日の昇順・降順を判断します。この場合、シリーズ生産開始日の
昇順・降順は、BWで割付くシリーズのみが対象となります。
- (4) 顧客マスターへ「カレンダー」フィールド(リンク型)を追加しました。
「地域」フィールドの前へ挿入しました。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (5) メニューの名称を変更しました。
旧:「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 実績取込ファイルの作成...」
新:「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 生産実績取込ファイルの作成...」
- (6) メニューの名称を変更しました。
旧:「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 実績取込ベースファイルの作成...」
新:「ユーティリティ - その他 - テンプレート - 生産実績取込ベースファイルの作成...」

Ver16.212 Ver16.252 (H16.11.25)

(追加・改良)

- (1) オーダー作成、下位データ連動作成、MRP作成でまとめ・分割ルールの追加
「A」: 半日単位にまとめ・分割します。(日付開始日時から12時間単位)
「B」: 1/3日単位にまとめ・分割します。(日付開始日時から8時間単位)
「C」: 1/4日単位にまとめ・分割します。(日付開始日時から6時間単位)
- (2) 「ハイブリッド設定」ダイアログへまるめ設定の追加
「1/2日」: 半日単位にまるめます。(日付開始日時から12時間単位)
「1/3日」: 1/3日単位にまるめます。(日付開始日時から8時間単位)
「1/4日」: 1/4日単位にまるめます。(日付開始日時から6時間単位)
- (3) マクロコマンド「HYBRID_SET」の引数3の内容追加
引数3: まるめ期間(「6」: 1/2日、「7」: 1/3日、「8」: 1/4日)
- (4) 工程名称マスターの「ハイブリッド単位」フィールドへ以下の選択肢を追加
「1/2日」: 半日単位にまるめます。(日付開始日時から12時間単位)
「1/3日」: 1/3日単位にまるめます。(日付開始日時から8時間単位)

- 「1/4日」: 1/4日単位にまるめます。(日付開始日時から6時間単位)
- (5)「生産計画 - オーダー - 最早開始日設定...」コマンドの名称変更
 新規:「生産計画 - オーダー - 最早開始日設定(原材料在庫)...」
 マクロコマンド名、マクロ使用方法の変更はありません。
- (6)「生産計画 - オーダー - 最早開始日設定(最遅仕上日)...」コマンドの追加
 最遅仕上日より、オーダー最早開始日を設定します。
- (7)マクロコマンド「Order_Early_Start_Set_By_Finish」コマンドの追加
 書式: Order_Early_Start_Set_By_Finish 引数1 引数2 引数3
 引数1: 対象オーダー(「0」: 全オーダー、「1」: 表示(抽出)されているオーダー)
 引数2: まるめ設定数
 引数3: まるめ期間(「0」: 時間、「1」: 日、「2」: 週、「3」: 旬1、「4」: 旬2、「5」: 月、「6」: 1/2日、「7」: 1/3日、「8」: 1/3日)

Ver16.105 Ver16.212 (H16.11.19)

(追加・改良)

- (1)「マスター - 工場外カレンダーマスター編集」コマンドを追加
 しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2)仕入先マスターへ「カレンダー」フィールド(リンク型)を追加しました。
 「出力ファイル名称」フィールドの前へ挿入しました。
 しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- ***処理変更*****
- (3)MRPの作成で、まとめ方法等の変更
 現状: 使用日から各種リードタイムを計算した後でまとめ処理を行っている。
 新規: まず、使用日でまとめ処理を行い、その後で各種リードタイムを計算する。
- (4)MRPの作成で、搬入LT、検査LTは、現状は24時間カレンダーを使用していたが、
 工場カレンダーを使用して計算することにした。
- (5)MRPの作成で、納入LTは、現状は24時間カレンダーを使用していたが、
 仕入先にカレンダーが指定されている場合は、カレンダーを使用して計算することにした。
- (6)MRPの作成で、納入日、発注日は、工場カレンダーで稼働日になるよう調整する
 ことにした。また、仕入先にカレンダーが指定されている場合は、両方とも稼働日
 になるように調整するようにした。

Ver16.0 Ver16.105 (H16.11.9)

(追加・改良)

- (1)初期設定「その他7」タブへ以下を追加
 「展開リストで原材料展開の備考は引当てリストの備考をコピーする」
 現状は、「No」で原材料在庫リストの備考がコピーされます。「Yes」に設定すると
 原材料在庫引当てリストの備考がコピーされず。
 デフォルトを「Yes」に設定しました。
- (2)初期設定「システム」タブへ「日付開始日時」を追加
 しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

- (3) 初期設定「システム」タブへ「日時拡張表示」を追加
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)